

平成 26 年度

第 40 回 近畿ブロック P T A 研究大会

大阪市大会

近畿ブロック P T A 協議会
会員様並びに関係者様

第 40 回近畿ブロック P T A 研究大会大阪市大会
大会委員長 笹 川 正 明

昔から大阪の町は、「なにわ八百八橋」と呼ばれていました。今でも、
天神橋、心斎橋など「橋」のつく地名がたくさん残っています。かつて
川を往来していた船が、今は道路を行き交う車に代わっても、商業の町
大阪は、活気とにぎわいに満ちあふれています。

その大阪で第 40 回近畿ブロック P T A 研究大会を開催します。近畿各
地の皆様が集い、語らい、学びあえる場となり、ひと・もの・文化が交
錯する研究大会になり、P T A 活動への新たなエネルギーが生まれること
を願って大阪市大会を開催します。

皆様、どうぞにぎわいの町大阪へお越し
ください。「大阪市大会」でお会いできますこと
を、心よりお待ちしております。



大阪市大会要項

1. 大会スローガン 「ころからころへ」
～ One for all All for one ～

2. 大会趣旨

我が国は、国際化、情報化、少子高齢化が急激に進む、変化の激しい社会です。それは、価値観の多様化とともに、子どもたちの生活環境や教育環境に大きな影響を与えています。

私たち P T A は、「教育の原点は家庭から」の理念のもと、各学校園に「子どもたちの笑顔」があふれ、「教職員の笑顔」があふれ「保護者の笑顔」があふれることを願って、P T A 活動に取り組んでいます。そのために、子どもたちの「心を育て、心をつなぐ」ことが最も大切です。

子どもたちの心を育てる責任が保護者にはあります。基本的な生活習慣や、倫理観、社会性、道德意識を養うことが、子どもたちの心を育て、家族との絆、先生との絆、そして、地域社会との絆から生まれる信頼が、子どもたちの心をつなげます。

P T A 活動が保護者の心を育て、心をつなぎます。私たちは何をなすべきか、ともに語り、学び、活動し、保護者として成長し、つながります。

すべては「子どもたちの笑顔」のためにという思いが、「ころからころへ」と伝わり、近畿各地に子どもたちの笑顔があふれることを願って、大阪市大会を開催します。

3. 主 催 近畿ブロック P T A 協議会 大阪市 P T A 協議会

4. 後 援 文部科学省 日本 P T A 全国協議会 大阪市 大阪市教育局委員会
(予 定) 滋賀県教育委員会 奈良県教育委員会 大阪府教育委員会
和歌山県教育委員会 兵庫県教育委員会 京都府教育委員会
京都市教育委員会 神戸市教育委員会

5. 参加者 近畿ブロック P T A 協議会会員 約 2,500 名

6. 会 期 平成 26 年 11 月 4 日 (火)

7. 会 場 大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

8. 参加費 3,000 円 (資料・昼食代込)

9. 日 程

9:30 10:30 12:00 13:00 13:30 14:15 16:00

| | | | | | |
|----|--------------------|----|-------------|----------------|------|
| 受付 | 分 科 会 (6 会 場) | 昼食 | アトラク ション | 全 体 会 (メインホール) | |
| | | | | 開会式・表彰式 | 記念講演 |



10. 記念講演

演 題 「人生、負け勝ち」

講 師 柳 本 晶 一 氏 (元バレーボール全日本女子チーム監督)



柳本晶一 Yanagimoto Shoichi

1951年大阪市生まれ。大商大附属高校卒業。現役時代のポジションはセッター。全日本のメンバーとして世界選手権銀メダル。モントリオールオリンピック4位。新日鉄、日新製鋼で男子チームの監督を務め、東洋紡オーキス監督として女子Vリーグ初制覇。2003年全日本女子バレーチームの監督となり、2004年アテネオリンピックで5位、2008年北京オリンピック5位の成績をおさめる。

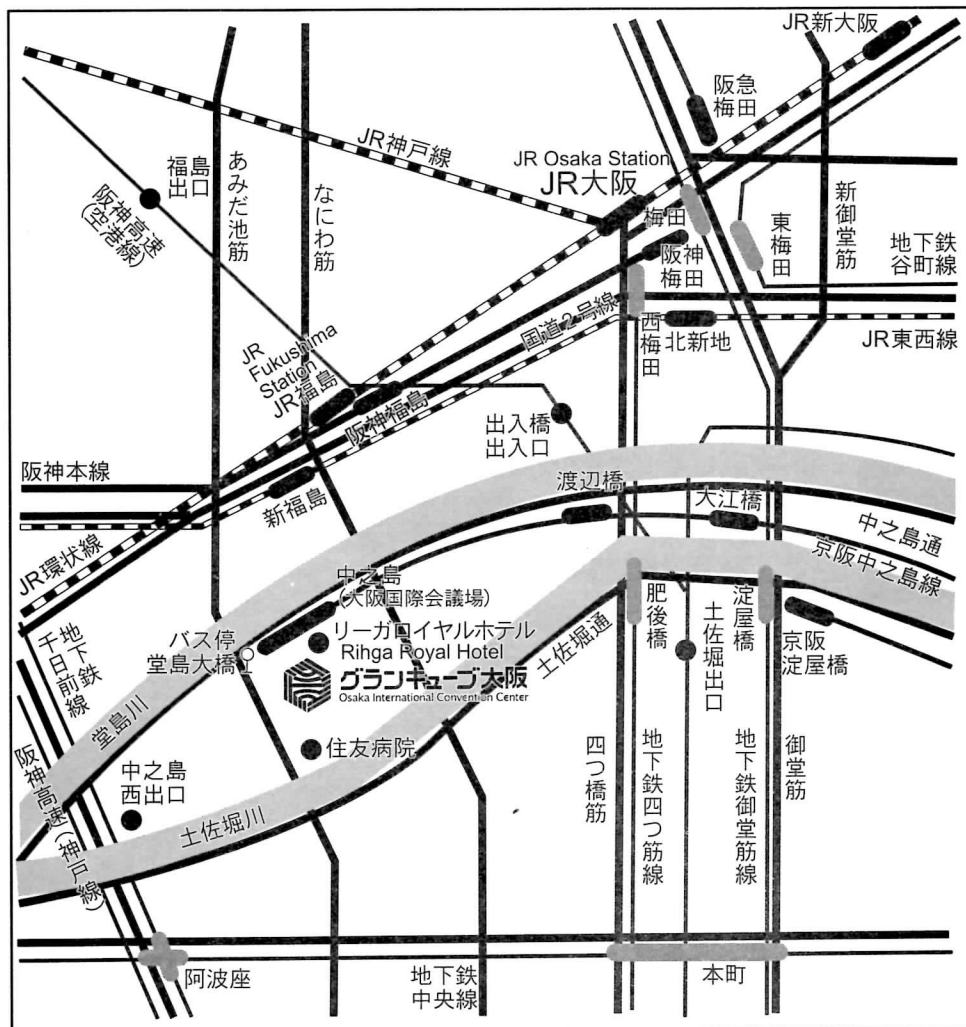
一般社団法人アスリートネットワーク 理事長

一般社団法人日本アスリート会議 議長

大阪市教育委員会事務局 顧問

11. 分科会

| 分科会 領 域 | 研 究 課 題 | 担 当 協議会 | 会 場 参加人数 |
|----------------------|---|-------------|----------------------|
| 第1分科会 組織・運営 | 私たちPTAは学校と家庭・地域の懸け橋として、「子どもたちの笑顔のために」活動しています。価値観や生活形態が多様化する中で、魅力あるPTAとなるためにはどうすればよいのか。会員が進んで参加できるPTA組織・運営を考える。 | 大阪府 兵庫県 | 1001・2 300 |
| 第2分科会 生涯学習 | 子どもたちは親の背中を見て育ちます。「子どものために、親は何をなすべきか。親はどうあるべきか」をともに語り、学び、活動することで、親として成長します。互いに高め合うPTA活動はどうあるべきかを考える。 | 滋賀県 京都府 | 1003 400 |
| 第3分科会 人権学習 | 国際化、情報化、少子高齢化が進み、価値観が多様化しています。「私も大切、あなたも大切」です。異なる価値観や文化の中で互いに違いを認め合い、共に生きるために、PTAとして何をなすべきかを考える。 | 奈良県 京都市 | 1004・5・6 300 |
| 第4分科会 青少年 健全育成 | 教育の原点は家庭と考えます。子育ての過程において「ええもんは、ええ」「あかんもんは、あかん」とはつきり伝え、基本的な生活習慣や社会的な規範意識を高めるために、私たちPTAが何をなすべきかを考える。 | 大阪府 神戸市 | 1202 200 |
| 第5分科会 広報活動 | 情報化社会の進展に伴い、情報の伝達手段も多様化しています。「広報活動は、会員への贈り物」です。学校、子どもたちの情報を共有し、必要な情報を的確に伝えるには、今日の情報化社会の中で、PTAとしてどのような広報活動がよいのかを考える。 | 和歌山県 大阪市 | 1009 300 |
| 特別分科会 | アスリート達はグローバル化したスポーツ競技の中で競い、活躍してきました。これからますますグローバル化する社会において、どのような力を育てなければならないのか。家庭教育はどうあるべきかを考える。 | 大阪市 | イベント ホール 1,000 |



大阪国際会議場 大阪市北区中之島5-3-51 電話 06-4803-5555 (代表)

■ 周辺アクセス Access to Osaka International Convention Center

<電車>

- ・京阪電車中之島線「中之島（大阪国際会議場）駅」（2番出口）すぐ
- ・JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約10分
- ・JR東西線「新福島駅」（3番出口）から徒歩約10分
- ・阪神本線「福島駅」（3番出口）から徒歩約10分
- ・大阪市営地下鉄「阿波座駅」（中央線1号出口・千日前線9号出口）から徒歩約10分

<バス>

- ・JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪市営バス（53系統 船津橋行）または（55系統 鶴町四行）で約15分、「堂島大横」バス停下車すぐ
- ・シャトルバスが、「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」桜橋口の間で運行しており、ご利用いただけます（定員28名）
- ・中之島ループバス「ふらら」で地下鉄・京阪「淀屋橋駅」（4番出口・住友ビル前）から約15分

大阪市PTA協議会事務局

540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35

アネックスパル法円坂

メールアドレス osksipta@crest.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.osakacity-pta.jp>

電話 06-6942-0610 FAX 06-6946-0592